

公民館報

No. 90
(2020 / 3 / 1)

くしもと

編集・発行：教育課

串本町串本2427番地

TEL 0735-62-0006 / FAX 0735-62-6023



表紙文化財紹介

こやまやしきいど
小山屋敷井戸

町指定文化財 記念物(史跡)

昭和52年1月28日指定

今月号の表紙は「小山屋敷井戸」です。

串本町西向の線路沿いにあるこの井戸は、当地方中世の領主小山氏の住居跡です。小山氏は鎌倉幕府重臣の一人で、元弘元年(1331年)に鎌倉幕府から派遣され熊野南海の守護に当たりました。南北朝時代は熊野水軍の雄将として活躍し、江戸時代は大島遠見番所の責任者として異国船監視の役職を務めました。後背地の城山に居城を築き、数百年にわたりこの地一帯に広大な住居を構えていましたが、現在はこの井戸のみが残されています。



1月3日(金)、町文化センターにおいて、令和2年成人式を開催しました。

成人式には対象者168名のうち男性66名、女性68名の計134名が色鮮やかな振り袖、スーツや袴で出席しました。

式典では新成人の住野渚さんと須賀真生さんの二人が司会進行役を務め、田嶋町長の式辞、結城町議会議長の祝辞の後、潮崎教育長より県知事からの祝電メッセージが披露されました。その後、新成人を代表して水本天斗さんが成人の誓いを読み上げました。

最後にアトラクションとして、田原出身のシンガーソングライター南努さんのライブ演奏が行われました。式典終了後は町立体育館に移動し、記念撮影を行いました。新成人は久しぶりの再会をよろこび、終始笑顔で交流していました。



成人の誓いを読み上げる
水本天斗さん



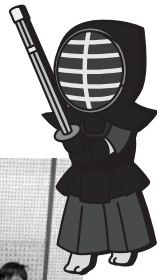
第15回年始剣道大会

1月29日(水)、町立体育館において、町教育委員会・串本少年剣道クラブ主催の第15回串本町年始少年剣道大会が開催されました。参加者は10名で、日頃の練習の成果を競い合っていました。

- 【新人の部】
優勝 稲田 羽琉
- 【小学生低学年の部】
優勝 河田 舞耶
準優勝 中西 遼
- 【小学生高学年の部】
優勝 中西 輝
- 【中学生の部】
優勝 川本 晴春
準優勝 川端 大輝



白熱した試合が繰り広げられました



第62回串本バドミントン大会

2月9日(日)、町立体育館において、串本町バドミントン協会主催、町体育協会後援の第62回串本バドミントン競技大会が開催され、田辺市から新宮市までの16チーム32人が参加し、一部(上級)、二部(中級)、三部(初級)の三部門に分かれて試合を行いました。



新人の部参加者
写真左が優勝



小・中学生の部参加者
前列が入賞者

各部門の入賞者は次のとおりです。



一部優勝ペア

- 【一部】
優勝 松下総一郎・三寸木 巧
準優勝 松場公一・久保勝裕
三位 飯田勝典・谷口美紀



二部優勝ペア

- 【二部】
優勝 漁野夕輝・橋本康平
準優勝 笠松秀士・倉谷 実
三位 笠松祐史・木村幸弘



三部優勝ペア

- 【三部】
優勝 渡辺 保・柿本真輔
準優勝 仲 真司・中芝由香利
三位 柳町美幸・柳町香月

春季キャンプ情報

今年も春季キャンプシーズンが到来し町総合運動公園に様々なチームが春季キャンプに訪れています。

多目的グラウンドでは、日本プロサッカーJ3リーグに所属するガンバ大阪U-23が2月2日から9日までの8日間キャンプを行いました。

期間中には桃山学院大学、阪南大学、伊勢志摩FC、アルテリヴォ和歌山との練習試合も行われ、地域住民やファンの方々が多数観戦に訪れていました。

野球場では、社会人野球チームの日本新薬硬式野球部と、立命館大学硬式野球部がキャンプを行いました。このほか、3月には多目的グラウンドでセレッソU-15が、野球場では神戸大学、日本福祉大学、秋田商業高校などがキャンプを行う予定です。



絵画(デッサン)教室

12月1日から22日の毎週日曜日に町文化センターにて絵画(デッサン)教室を開催しました。
第1・2回では人物(石膏)を、第3・4回では静物(ビン・コップ等)を題材にデッサンを行いました。参加者の19名は、講師の植野禎先生に透視図法を基本とした描き方を指導していただきながら、熱心に作品を描いていました。なお、完成した作品は1月7日から16日まで町文化センター1階の展示ホールに展示を行いました。



短歌講演・講評会

1月24日(金)午後1時30分から、町文化センター2階会議室Aにて、町教育委員会主催による短歌講演会・講評会が開催されました。

講演会では、読売新聞和歌山版文芸欄短歌選者の唐津麻貴子氏が「短歌を楽しもう」をテーマに講演されました。万葉集等の短歌を紹介し、「短歌は愛情表現の原点であるので、誇りを持って短歌を詠んで欲しい」と述べ、串本町の短歌活動の発展を願われました。

講評会では、町内外の35名から事前に応募のあった66首について講評を行い、町長賞など10首を選びました。

入賞首と詠み手は下記のとおりです。



入賞作品

町長賞

諸手上げ孫大芝生駆け巡る十万坪をわがもの顔に

鈴木 清詞

議長賞

歳重ねふる里偲べば浮かび来る水害前の村の風景

高城 恒子

教育長賞

知覧にて少年兵の遺書手紙涙に曇り読めず帰り来

中尾 光一

選者賞 7首

炎天の荒磯の岩間浜木綿の聖のごとく咲き定まりぬ

向井 ゆみ子

「おがたま」の大樹は洞となりし杉に凭れしままに紅の実ははしく

引地 貞子

掛襟に忍ばせらるる爪楊枝舅の袷をたたむ手に触る

田中 掬代

微睡みて刺繍の針を持ちしまま静かに閉じたしこの世の暮を

坪野 修子

銀しやりと誰が名づけし米粒の光まばゆき病癒ゆ身に

山崎 千里

ああ斯くもすばらし大谷の写真ポスター「未来よ驚け」

野入 博史

夜の闇鈴虫鳴ける庭のすみ人寝静まり恋は始まる

辻 俊作

文化財防火訓練

2月4日(火)に善照寺(古座)、2月5日(水)に無量寺・応拳声雪館(串本)において文化財防火訓練を実施しました。境内での出火を想定し、消防署への通報、文化財に見立てた模造品の搬出、消防署員による放水訓練のほか、消火器の使用訓練などを行いました。

第66回を迎えた「文化財防火デー」の前後で行われるこの訓練は、火災、震災、その他の災害から文化財を守るため毎年実施しています。昨年4月にフランスのノートルダム大聖堂が10月には沖縄県那覇市の首里城が火災により焼失するといった事態が発生しました。有事の際には、訓練に参加して頂いております文化財関係者



搬出訓練(善照寺)



消火器使用方法の説明(無量寺)

だけでなく、周辺住民の皆さんの協力が必要不可欠となります。地域ぐるみの保護活動へのご理解とご協力をよろしく願っています。

※文化財防火デー

昭和24年1月26日に奈良県の法隆寺で火災が発生し、金堂の障壁画が焼失しました。これを機に文化財を火災、震災、その他の災害から守るため、文化財防火運動を展開しようとして制定されました。以来、毎年この日を中心に各都道府県教育委員会、各消防署、文化財所有者等の協力を得て、文化庁と消防庁が連携・協力して全国各地で防火訓練などの文化財防火運動を展開しています。

大島水門祭



2月8日(土)、串本町大島の水門神社や大島港にて「水門祭」本祭が行われました。
水門祭は和歌山県の無形民俗文化財に指定されており、豊漁と商売繁盛を祈願するお祭り、通夜島に上陸した誉田別命(ほむたわけのみこと)と神天皇(第15代天皇)を島民が迎えたのが由来とされています。観客が見守る中、御的の儀、獅子舞、權伝馬競漕など様々な神事が執り行われました。

南紀熊野ジオパークフェスタ

2月15日(土)、町文化センター、町立体育館において、南紀熊野ジオパーク推進協議会・環境省近畿地方環境事務所主催による第7回南紀熊野ジオパークフェスタが開催されました。

このイベントは、南紀熊野ジオパークの認知度・理解度の向上を図り、地域の活動・取り組みを活性化するため毎年開催されています。

町文化センターではシンポジウムが行われ、フォトコンテスト入賞者表彰式や国立研究開発法人海洋研究開発機構顧問の平朝彦氏による基調講演が行われました。



第19回 市町村対抗ジュニア駅伝競走大会

2月16日(日) 和歌山市で第19回和歌山県市町村対抗ジュニア駅伝競走大会が開催されました。

県立紀三井寺陸上競技場から県庁前までの10区間合計21.1kmを小学生4名、中学生6名がタスキを繋ぐコースで健脚を競いました。久保浩子監督の指導のもと、メンバーは昨年から監督や実行委員のみなさんと共に練習を積み重ね、隣の駅伝大会等に出場し素晴らしい結果を残し、大会当日を迎えました。



当日はあいにくの天気、風や大雨がランナーを苦しめる場面もありましたが、県内各市町村代表の選手達が、沿道から送られる声援と拍手に後押しされ、タスキを繋ぎゴールを目指す中、串本町代表の皆さんも最後まで懸命に走り抜き、第10位と素晴らしい結果になりました。惜しくも4年連続の入賞は逃してしまいましたが、選手達は串本町の代表として大変よく健闘しました。

大会結果

- 串本町ジュニア駅伝チーム
第10位 (1時間14分21秒)
- 3区 久保 凜 1位(区間新)
6区 堀 美奈希 3位
- 〔市町村対抗オーダーチーム〕
- 1区 喜田 彪夷(潮岬中3年)
2区 芦立 心(串本中1年)
3区 久保 凜(潮岬小6年)
4区 山田依桜里(近大新宮中2年)
5区 久保 将瑛(串本中3年)
6区 堀 美奈希(串本小6年)
7区 山田 涼生(古座小6年)
8区 伊勢谷 連(串本中2年)
9区 堀口 玲望(潮岬小6年)
10区 尾崎 立(潮岬中2年)

オープンの部オーダーチーム

- 1区 西村 駿輝(潮岬中2年)
2区 上野 陽春(串本中2年)
3区 柿本 優雅(潮岬小6年)
4区 堀 音和(串本中3年)
5区 種井 祐貴(串本中3年)
6区 川口 真央(潮岬小5年)
7区 山崎 瞬(潮岬小5年)
8区 山崎 凜(串本中2年)
9区 北川 大志(潮岬小6年)
10区 野村 行誠(串本中2年)
川口 蒼瑛(出雲小5年)
鳴崎 立晟(串本小5年)
伊藤 尤志(串本小6年)
佐藤 雪乃(潮岬小5年)
猪村 凌(串本中3年)
川口 大陽(串本中3年)
岡村 夏那(串本中1年)
久保日真莉(串本中1年)

くしまでの活躍

- くまの駅伝大会(1月12日)
小学生男子の部 優勝
中学生男子の部 優勝
一般女子の部 Aチーム 3位
Bチーム 4位
- 新宮市駅伝大会(1月19日)
小学生男子の部 優勝
小学生女子の部 優勝
中学生男子の部 優勝
中学生女子の部 優勝

太地町くじら浜公園駅伝大会(2月2日)

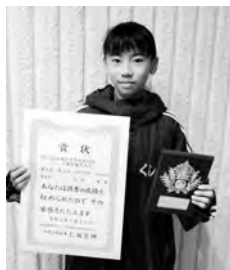
- 小学生の部 優勝
中学生男子の部 優勝
一般女子の部 2位

新宮マラソン大会(2月9日)

- 小学生男子の部 5位 堀口 玲望
小学生女子の部 優勝 久保 凜
中学生男子の部 優勝 尾崎 立
4位 久保 将瑛
中学生女子の部 優勝 尾崎 立
4位 伊勢谷 連
5位 芦立 心



第3区(小学生女子) 1.6kmの区間を走った久保凜選手が、区間賞を受賞し、2年連続の区間賞受賞となりました。第3区は3位までが区間新記録のタイムとなる激戦区でしたが、見事に走り抜き、区間記録を18秒更新する4分57秒のタイムで区間新記録を樹立しました。



今年4年に一度のうるう年、56年ぶりに東京でオリンピック、パラリンピックが開催される年である。競技場の設計変更やロゴデザインの盗用騒ぎから始まり、最近ではマラソン競技が急遽札幌開催に変更されるといったドタバタもあつたが、これから夏にかけて世間はますます五輪の話題でにぎやかになっていくのだろう。



灯台

前回は五輪が話題されたのは1964年だった。日本が戦争に負けて約20年、何とか戦後復興を成し遂げ、新幹線や高速道路も完成させて先進国の仲間入りを果たそうとしていた時代。高度成長期といわれるように所得倍増がスローガンに掲げられ、まもなく日本のGNPは世界第2位となる。国民は夢や希望をもってひたすら努力していた時代だったと、懐古も込めてそう評価されることが多い。

東京オリンピックの話題が出る、私は子供時代の思い出と重なって前回大会を思い出す。オリンピックマーチと入場行進。女子バレーボール東洋の魔女。男子体操のウルトラC。ゴール前で抜かれたマラソンの円谷幸吉。お家芸の柔道で神永を押さえ込んだへー



シンク。黒い弾丸、1000メートルのボブ・ヘイズ。白黒テレビで見たの、ところどころ色付き画像で思い出すのは、市川崑監督の映画「東京オリンピック」を観たからだろう。先生に連れられて皆で見に行った。確かに「築映」の映画館だったか? 何にしても当時はまだ小学校の低学年だったの、後に何度となく流された映像によって記憶が再編集されているかもしれない。

私の子供時代は、随分前にヒックした映画「3丁目の夕日」と重なる。東京オリンピックより少し前の東京下町が舞台だが、田舎に住む私の暮らしは映画に出てくる子ども達より5年は遅れていたように思う。ちなみに私の家にはガスコンロもあつたが、かまどがまだ現役で活躍していた。水道の蛇口はあつてもいつも水が出るわけではなくて、台所には水瓶とひしゃくがあつた。生活用水は雨水をタンクにためて使う。店に行けば駄菓子を買えたが、山に出かけて椎の実やら、アケビ、ヤマモモ、サクランボなんかを採って食べた。椎の実の好物で今でも時々拾ってきたりする。煎って食べる

と結構ウマイと思うのだが、子供が小さい頃に食べさせたら反応はさっぱりだった。そもそも食べるものなのかという感覚のようだ。昔は「口開け」があつたというほどポピュラーだったのに、椎の実を食べる文化はなくなってしまったのだろうか。

東京五輪から6年、大阪で万博が開かれる頃に高度成長はピークを迎える。この間我が家の暮らしも大きく変化した。田の字型で広い土間のある昔ながらの家屋は取り壊され、水瓶やかまどや床下にあった芋壺が消えたかわりに、家の中にトイレができた。常時水道が使えるようになっただけではなくて、ボタンを押すとお湯が出る瞬間湯沸かし器なるものも登場した。クーラー、電子レンジはまだ少し先だがカラーテレビが備わり生活水準は都会と比べてもそれほど遜色なくなつたように思う。時間がたてばこれからもどんどん便利に、豊かになっていく。明るい未来がやってくる。漠然とだがそう思っていた頃である。

万博から50年たった現在。いちいちあげるまでもなく確かにいつそう便利で豊かな世の中になった。しかし、人口減、高齢化、大規模災害から地球温暖化や世界平和の問題に至るまで、容易に解

東京オリンピック2020 聖火リレー



東京オリンピック2020聖火リレーは、福島県を出発し、日本全国を回った後、東京都の開会式場に到着します。

串本町では4月10日(金)に道の駅「くしもと橋杭岩」から町総合運動公園多目的グラウンドまでのルートを行います。詳細については町ホームページをご覧ください。

聖火リレー当日は、是非沿道にて聖火ランナーへのご声援をよろしくお願いいたします。

第15回

町民音楽祭

会場：串本町文化センター大ホール 入場無料

器楽・合唱の部

令和2年 3月1日 日 13:00~

順番	団体名	曲目	種目
1	琴グループ奏楽 (そら)	島唄	邦楽
2	ハラウフラ・オ・カワイ・オ・ナラニ串本教室	Pa Mai Ana Ka Makani アロハ、ホノルル	その他 (フラダンス)
3	好音 (こと) の会	風	邦楽
4	和太鼓サークル はやぶさ	木遣り唄 三宅	楽器演奏
5	みくまの太鼓	木遣り唄 MIYAKE	楽器演奏
6	正調串本節保存会	正調串本節	民謡
7	マンドリン アンサンブル「マーレ」	村の娘 さくら貝の歌	楽器演奏
8	串本コーロびおれった	落葉松 パプリカ	コーラス
9	串本うしおコーラスグループ	川のうた 那智讃歌 五輪音頭	コーラス
10	ふれあいコーラス	春のメドレー しあわせ運べるように	コーラス
11	(一社) 哲泉流日本吟詠協会和歌山県支部連合	名槍日本号 富士山 川中島	詩吟
12	フラハプナ	アフリリ リロの歌	その他 (フラダンス)
13	友千恵会	片時雨 あばれ太鼓	その他 (日本舞踊)
14	江戸芸かっぱれ芳紀会	奴さん かっぱれ	その他 (踊り)
15	野莓クラブ	瞳 オリジナル	その他 (POPS)

バンドの部

令和2年 3月8日 日 13:00~

順番	団体名	時間
1	KRT	13:00
2	フォークソング キンプ	13:30
3	M.Y.B	14:00

主催：串本町・串本町教育委員会・串本音楽協会